

高校卒業を迎える奨学生から

感謝の言葉

維持会員・東京中野ライオンズ
クラブ・西武信用金庫の皆様へ

「三年間で培ったもの」

田口 陽菜

私が三年間を通じて学んだことは、挑戦することの大切さです。今までは、得意ではないからや嫌いだからという理由で避けてきたことがたくさんありました。高校生になり苦手な英語や友達づくり、人の前に立つことを自分から積極的に取り組み、その結果、全てを克服できたわけではありませんが苦手意識がなくなりました。

この先、進路選択や勉強においてたくさんさんの試験に出会うと思います。高校で学んだことを忘れずに、自分から困難に挑む姿勢を常に持ち続けたいです。

「高校生活の成長と挑戦」

太田 水月

高校生活の三年間は、成長と挑戦をして忘れられない思い出に満ちた貴重な時間でした。中学とは全く変

わった環境で不安がある中で始まった日々は、授業や部活動、文化祭、体育祭といった多様な行事を通じてかけがえのないものへと変わっていったと思います。特に、仲間とともに目標に向かって戦ってきた時間は深い絆を生んで、努力することの大切さを学びました。時には失敗などもあったけど、それらすべてが自分の経験値にしてくれたと感じます。

この三年間で培った経験や絆を使つて卒業した後の自分の人生の第一歩を築けて行けたらと思います。

「宝物のような三年間」

櫻井 穂乃

高校生活の三年間は、新しい環境の中で様々なことを経験し、成長できたように感じます。夏休み中に初めて海外に留学したことや、日本に來た留学生のバディとなったことでホストファミリーを経験したこと、体育祭で応援団に入るなど、忙しくもとても充実した三年間でした。

特に、留学や英検準一級の取得など、英語の学習に力を入れることが出来たことで、大学にむけて更なる目標を見つけることができました。高校で得られた経験は私にとって

宝物です。大学ではその宝物を生かしていきたいです。三年間本当にありがとうございました。

「高校三年間の思い出」

小野 そら

このたびは奨学金を賜り、本当にありがとうございます。

高校三年間を振り返ると、女子バスケトボール部の部長としてチームをまとめながら、自分自身も成長できた日々でした。勉強と部活動の両立は大変でしたが、文武両道を目指して努力を重ね、最後までやり抜く力を身に付けることができました。試合での悔しさや勉強での壁もありましたが、それらを乗り越えるたびに強くなれたと感じています。

挑戦を恐れず、全力で取り組んだ三年間は、私にとってかけがえのない宝物です。今後も感謝の気持ちを忘れず、さらなる成長を目指して努力していきます。

「高校の思い出」

佐藤 琥太郎

高校三年間を振り返ると、色々な出来事が思い出として残っています。なかでも軽音部での活動は、自分にとって大きな経験でした。最初は上

手く演奏できず悔しいことも多かったですが、仲間と練習を重ねるうちに少しずつ上達していくのを実感できました。三年生で文化祭、後夜祭とステージで演奏できたときの達成感、いまでも忘れられません。

あつという間の三年間でしたが、自分を成長させてくれた友達や先生方にはとても感謝しています。高校での経験を活かし、これからも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

第12回 中野区検定

中野のホシ★ものしり
博士が10人誕生

第12回中野区検定を11月30日（日）中野区産業振興センターにおいて、午前10時から実施しました。今回の申し込み者数は87人で受検者数は69人でした。年齢は13歳から82歳まで、そして、区内の方だけではなく杉並区、豊島区、練馬区・西東京市・西多摩郡・さらに、埼玉県、石川県、千葉県などからの応募がありました。申し込み方法にQRコードが入ってからは受検者の9割の方がこの方法で申し込みられています。